

会議録

会 議 名	令和8年度第1回東松山市介護保険運営協議会					
開 催 日 時	令和8年5月21日(木)			開会	14時00分	
				閉会	15時20分	
開 催 場 所	東松山市総合会館 多目的ホールA (総合会館4階)					
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 地域密着型サービス事業者の指定更新について (2) 居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所に従事する介護支援専門員向けアンケートの集計結果の報告について (3) 第10期高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画 第1章・第2章(案)について(各種調査結果から見た現状と課題) (4) 第9期 高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画 実績(速報) 4 その他 ① 意見票について ② 次回の会議日程について 5 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠席状況	会 長	稲葉 一洋	出	委 員	加藤 美千代	出
	委 員	辻 守史	出	委 員	武田 耕典	欠
	職務代理者	奥村 一彦	出	委 員	池田 寛之	欠
	委 員	坂田 雅則	出	委 員	山田 昭彦	欠
	委 員	美細津 綾	出	委 員	富井 芳己	出
	委 員	大木 英生	出	委 員	須藤 博一	出
	委 員	成田 浩一	出	委 員	金子 一成	出
	委 員	中里 礼子	出			
事 務 局	健康福祉部部長 柳沢 知孝			健康福祉部次長 加藤 充		
	高齢介護課長 福田 誠			高齢介護課副課長 小林 真樹		
	高齢介護課包括ケア推進室長 吉田 元気			高齢介護課主査 望月 真由美		
	高齢介護課主査 竹間 智世			高齢介護課主査 小島 康洋		
	高齢介護課主査 早見 和大			サーベイリサーチセンター 横田・石塚		

次第	顛末
1 開会	○福田課長
2 あいさつ	
3 議事	<p>(1) 地域密着型サービス事業者の指定更新について</p> <p>○事務局：早見主査 資料1について説明</p> <p>○稲葉会長 ありがとうございます。地域密着型サービス事業者の指定についての更新です。今後も適切なサービス提供が見込まれることから事後承認をいただきたいという件です。 よろしいでしょうか。 (「異議なし」の声)</p> <p>○稲葉会長 ありがとうございます。 それでは、二つ目の議事に移らせていただきたいと思います。</p> <p>(2) 居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所に従事する介護支援専門員向けアンケートの集計結果の報告について</p> <p>○事務局：サーベイリサーチセンター 資料2について説明</p> <p>○稲葉会長 ありがとうございました。 議事(2)の介護サービス提供の二つのアンケート調査結果について主だったところを中心に現状や課題を報告いただきましたが、御意見、御質問等ありますでしょうか。</p> <p>○坂田委員 資料46ページの職員の過不足状況の表ですが、「当該職種はいない」が母数に含まれているので、この集計方法だと不足感が正しく伝わらないかなと感じました。全般的にそうですが、特に訪問介護員については、訪問介護事業所が6事業所回答しているようで、その全事業所が「不足している」と回答しています。だから、市内で見ると、訪問介護員の不足感は100%と思いました。ほかの職種でも、「当該職種がない」が入っていると正しく伝わらないと感じます。 また、ドットとかストライプのパターンが少し分かりづらいので、もう少し分かりやすいといいなと思いました。 これに付随しますが、ケアマネジャーアンケート18、19ページについて、「訪問介護」が前回より回答数が大分増えているという結果になっていますが、これは単</p>

に事業所を多くする必要があるというよりも、人がいない状況からこのような数字になっているのかなと思います。

ケアマネジャーの方向人かに聞いたことがあります、ここ数年、訪問介護事業所に頼んでも、なかなか人がいなくて受けられない状況があつて、市外の事業所に頼んでいるというケースもあるそうです。そういった意味で不足しているということがあるのかなと思います。

各事業所では、それぞれ人材確保の取組を一生懸命行っていますが、特に訪問介護員は、資格を有していないとできないこともあるため、その確保の取組や施策に入れていくことも必要かなと感じました。

以上です。

○稲葉会長

今の御意見に対していかがでしょうか。

○事務局：サーベイリサーチセンター

報告書について、最初に御質問いただいた46ページの「職員の過不足の状況」につきましては、御指摘のとおりだと思います。事業所種別を伺っておりますので、そこをクロスで掛け合わせ、詳細に内容を確認させていただければと思います。もう1点、グラフが見にくいということにつきましては、パターンを変更する、または棒グラフに変更するなど、各項目が見やすくなるように修正させていただければと思います。

○稲葉会長

坂田委員さん、どうもありがとうございました。

以上の2点、サーベイリサーチセンターさん、よろしくお願ひします。

さて、ほかはいかがでしょうか。

○大木委員

25ページです。誤字ではないかと思いますが、「連携が不足しているところ」という質問で、1位が医療機関、2番目が民生委員という書き方になっています。1行目の最後に「次いで」とありますが、同率かと思うので、「医療機関・民生委員が同率で高い」としたほうがいいのかと思いました。

以上です。

○稲葉会長

サーベイリサーチセンターさん、お願ひします。

○事務局：サーベイリサーチセンター

こちらは御指摘のとおり誤字でございますので、医療機関と民生委員をまとめた形で最も多くという文言に修正させていただきます。ありがとうございます。

○稲葉会長

ありがとうございました。

ほかにお気づきの点、御意見等ありますでしょうか。

(「なし」の声)

○稲葉会長

よろしければ、議事の2番目の集計結果の報告について御承認をいただきたいと
思います。今お二方の委員から御指摘いただいた点については、修正・訂正がなされ
るということで、承認ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

○稲葉会長

ありがとうございます。

それでは、議事(2)を終えまして、議事(3)に移りたいと思います。

(3) 第10期の高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画の1章・2章(案)について

○事務局：サーベイリサーチセンター

資料3について説明

○稲葉会長

ありがとうございます。

第10期の高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画の1章・2章について説明いた
だいたわけでありましたが、御質問、御意見等ありますでしょうか。

○坂田委員

細かいところで、3ページの5行目あたりに、「2026年4月に30.4%と3割台に
達しました」とありますが、もう令和6年には3割台には達しているようなので、
「30.4%となっています」といった表現のほうがよいのではないかと思いました。

以上です。

○稲葉会長

事務局から何かありますか。

○事務局：小林副課長

高齢介護課、小林と申します。坂田委員の御意見の通りだと思いますので、修正
させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○稲葉会長

ありがとうございました。

ほかにかがででしょうか。

○大木委員

細かい点ですが、16 ページの高齢化率について、令和 6 年の「14.0」と、「16.1」を足すと「30.1」と思ったのですが、これは小数点を足す処理によるという理解でよろしいでしょうか。

○事務局：小林副課長

高齢介護課、小林と申します。大木委員がおっしゃるとおり、小数点 2 以上の数字を足し上げますと「30.2」となります。

以上でございます。

○稲葉会長

ありがとうございます。ほかにかがででしょうか。

○成田委員

感想程度で恐縮ですが、共生社会の実現を推進するための認知症基本法というものが出来たということで、仕事柄とても期待しております。ただ、その背景にはかなりの人手不足があると感じています。恐らくどの場所でも起こっていることではないかと思しますので、そこにたどり着くまでの道のりは長いのかなと、認知症介護の仲間とも言っております。

少し後ろ向きな意見になってしまい申し訳ありませんが、とても期待しておりますので、素晴らしい計画になるとよいと思っております。

以上です。

○稲葉会長

ありがとうございます。地域共生社会は、従前から続いている言葉ですが、どう定着したり、広げていくことができるのかということが、課題であり続けているということでしょうか。

さて、ほかにかがででしょうか。

何期か委員を務められている方には御案内のとおりですが、今回は 1 章と 2 章についてです。そして、説明の中にもあったように、一部数字などを入れ替えたり、今後、数字が示されてから変更するなど、部分的な修正はかなり入ってくるようになります。今回は、1 章・2 章について大枠を取り上げ、このようなことを論じていくという点について、まず承認いただくこととなります。それが今日の議事（3）の課題です。

ですから、本日は御意見をぜひ出していただき、最後の段階では、全体を通してという形でいくことになっています。いかがでしょうか。

（「なし」の声）

○稲葉会長

それでは、私から、少し気になったことがあります。

36 ページで、社会活動等の参加頻度という設問で8項目あります。この8項目のうち2番目のスポーツ関係のグループやクラブだけが前回より低いのですが、それ以外の7項目は今回調査で全部数字が上回っています。そういうことから、社会活動の参加を支援したり応援したりしていること、また、市民の方がそういったことに関心を持っている方が増えていることが見えてくる、よいデータだと思って拝見しました。しかし、少し気になったことがあります。無回答が8項目とも25%以上あることです。4分の1以上を超えています。

また、37 ページに図が掲載されていますが、「気分の沈み込みやゆううつな気持ちがあったか」と設問を見ると、前回と今回を並べており、その下に「参加している・参加していない」という数字が入っていますが、当然今回の結果を意図していると思います。参加している37.8%が、気分が沈み込んだり憂鬱な気持ちになる、「はい」と答えているわけですが、参加していない方では、それより10%近く「はい」が多いです。そういう数字が分かるのですが、この数字出すときに、「参加している」というのは、8項目のうち1項目でも参加していたら、参加しているとカウントしているのでしょうか。これが質問の一つ目です。

もう一つは、無回答が全ての項目で25%程ありましたが、無回答のところでは「参加している」という人は2.4%となっています。これは8項目のうち1項目でも「参加している」と回答した人を「参加している」と勘定して集計していると推測したのですが、そのような理解でよろしいでしょうか。ただ、そうだとすると、もう少し分かりやすい表現をしたほうがよろしいかなと思います。というのは、前段の数字とのつながりが見えにくく、ここで突然出てくる印象があります。

2点質問で、もう一つは、図に改善の余地があるならされてもいいかなという印象を持ちました。

以上です。

○事務局：サーベイリサーチセンター

まず1点目につきまして、37 ページの参加別の「参加している」については、御推察のとおり、前ページの①から⑧の項目のうち、何かしら一つでも参加している方を指しております。

次に2点目につきましては、見せ方の問題であると考えております。現在は、参加別の結果と今回の結果の間に前回結果が入っているため、少し分かりにくくなっていると思います。前回結果を除くことで、前ページからの流れがもう少し分かりやすくなるのではないかと考えております。

○事務局：サーベイリサーチセンター

補足させていただきます。

会長がおっしゃられたものは、恐らく今回10期と書いてある直下に、「参加している・参加していない」という2本のグラフを載せたほうがよいのではないかと

うことかと思えます。掲載されているグラフの順序を入れ替える、「今回・参加している・参加していない」、その後ろに「前回」という並びも検討の余地があるのではないかという御提案と思えます。

○稲葉会長

ありがとうございます。これが難しいことはよく分かっています。説明などを多く入れると分かりにくくなってしまうから、なるべく省略できるものは省略して書きたいと。ですから、紙面が乱雑にならないように、サーベイリサーチセンターさんのほうで工夫されたほうがすっきりしたものになると思えます。

○事務局：サーベイリサーチセンター

はい。並び順を工夫させていただきます。

それからもう1点、無回答の2.4%のお話がありました。37ページの上段にある2.4%という無回答については、この無回答自体は、憂鬱な気持ちとか浮き沈みがあったかどうかという質問に対しての「はい・いいえ」で、そして、その「はい・いいえ」にも答えてない方の2.4%でございますので、こちらについては参加頻度とは別問題となります。

以上でございます。

○稲葉会長

ありがとうございます。さて、ほかにいかがでしょうか。

1章は、概ねよろしいでしょうか。これは計画の基本となる部分で、背景、計画の位置づけ、期間、国が定めている基本指針、計画の策定体制などです。また、今後、内容を入れ替える必要が出てくる箇所もあると思えます。

2章は内容が変わりまして、今高齢者の保健福祉を取り巻く状況が記載されています。これは4節構成で書かれており、高齢者の現状と将来推計、日常生活圏域の状況、第9期計画の進捗評価等、各種調査結果から見た現状と課題が示されています。内容としても、おおむねこのような構成で進めていくことが示されており、現状や課題についてもかなり盛り込まれていると思えますが、いかがでしょうか。

(「なし」の声)

○稲葉会長

よろしいようでしたら、議事(3)は、一部数字や文言の修正、あるいは皆さん方からいただいた意見等を踏まえた修正を入れるところがありますが、そういったことがあることを前提に、大枠は御承認をいただくことにしたいと思えますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

○稲葉会長

ありがとうございます。そうしますと、議事(3)は終わらせていただきまし

	<p>て、議事（４）に移らせていただきます。</p> <p>四つ目です。第９期、高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画 実績（速報）について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(4) 第９期・高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画 実績（速報）</p> <p>○事務局：小林副課長 資料４について説明</p> <p>○稲葉会長 ありがとうございました。実績報告がありました。これは速報値ということですので。ですから、改めて計画の中で第４章として出てくるということですが、御質問等ありますでしょうか。</p> <p>よろしいようであれば、この議事（４）までで議案は全て終了となりますが、よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」の声）</p> <p>○稲葉会長 それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
4 その他	<p>○事務局：福田課長 続きまして、次第の４、その他でございます。委員の皆様から何かございますか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」の声）</p> <p>○事務局：福田課長 それでは、事務局から連絡事項が一つございます。</p> <p>○事務局：小林副課長 第１０期 東松山市高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画策定に向けた座談会と、認知症当事者ヒアリングの実施について御説明させていただきます。</p> <p>当市では、計画策定に当たり地域で活動されている方から、地域活動等を通じて感じている高齢者支援の課題や行政施策への御意見等をお聞かせいただくことが重要であると考え、座談会を予定しております。</p> <p>また、共生社会の実現を推進するための、認知症基本法第３条の基本理念の中に「全ての認知症の人が、社会の対等な構成員として、地域において安全にかつ安心して自立した日常生活を営むことができるようにするとともに、自己に直接関係する事項に関して意見を表明する機会及び社会のあらゆる分野における活動に参加する機会の確保を通じて」とあることから、当市では認知症の方と御家族の方を対象に個別のヒアリングを実施したいと考えております。</p> <p>座談会につきましては、来月６月８日に実施を予定しており、座談会のテーマと</p>

しましては、2040年に向けた地域包括ケアシステムの深化と地域共生社会の実現について、お話をさせていただく予定です。

参加者につきましては、自治会連合会代表の方、シニアクラブ連合会代表の方、民生児童委員協議会連合会代表の方、サロンの運営者の方、認知症の人と家族の会の方、地域包括支援センターの方、生活支援コーディネーターの方の7名を予定してございます。

また、認知症ヒアリングにつきましては7月に実施を予定しており、該当の方と、その調整をしております。

以上で、その他、座談会と認知症当事者のヒアリングの実施についての説明を終わります。

○福田課長

ただいまの件につきまして、御質問等ございますか。

○成田委員

座談会のメンバーは決まっていますか。傍聴は可能ですか。

○事務局：小林副課長

メンバーは7名です。自治会の方、シニアクラブ、民生委員さん等、各種団体に推薦依頼を出させていただきまして、そちらから推薦いただいた方ということで、出席していただく方につきましては決定してございます。

傍聴につきましては、今、事務局内での議論が済んでございませんので、もし傍聴ができるようであれば、改めて御連絡させていただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

○成田委員

ありがとうございます。

○福田課長

ほかにございますか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声)

○福田課長

お手元にお配りしました意見票ですが、この会議の中で御発言できなかったこと、また、お帰りになった後に感じたこと等がございましたら、5月28日木曜日までに、事務局に郵送またはファクスにて御提出いただきたいと思います。次回の会議で御報告させていただきます。

そして、次回の会議の予定でございますが、8月に開催を予定しております。日時等の詳細につきましては、追って御連絡させていただきます。

5 閉会	<p>○事務局：福田課長 最後に、健康福祉部長の柳沢より、閉会にあたりましてお礼の御挨拶を申し上げます。</p> <p>○事務局：柳沢部長 ・閉会のあいさつ</p>
------	--

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和8年6月4日 署名委員 美細津 綾 _____

署名委員 成田 浩一 _____